第４号様式

 さんの

**災害・緊急時の**

**避難マニュアル**

* これは、ご本人・ご家族の皆様が万一の災害時や緊急時に停電が発生した際に少しでも落ち着いてスムーズに避難することができるように、ご本人・ご家族自身で計画していくためものです。
* 緊急事態は突然やってきますので、これは緊急避難物品や人工呼吸器のそばなど決まった場所に必ず置いて、時々内容を再確認しましょう。
* 停電時には、これを見ながら落ち着いて行動しましょう。
* 避難・入院の際にもこれを必ず持っていきましょう。
* 状況が変われば、すぐに内容を修正し、修正日を記入しましょう。

また、その旨を支援関係者に伝えましょう。

修正日： 　　年　　月　　日

作成日： 　　年　　月　　日

修正日： 　　年　　月　　日

目　　　　　　　　次

１　緊急時の医療連絡票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　停電時の対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３　自宅付近のハザード情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

４　避難を判断する目安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

5　災害が発生した時の初期対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

６　停電が発生した時の初期対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

　　停電が長引きそうな場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

７　避難する場合の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

　　避難時の持ち出しセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

８　各種連絡先リスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

１　緊急時の医療連絡票

※この連絡票は、災害時などに初めて対応する医療関係者に伝えたい医療情報をまとめたものです。緊急避難時に入院する時等に役立ちます。

医療機器の設定が変更された場合は更新しましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 患者氏名 |  | 性別 | 男　・　女 |
| 生年月日 | 　　　　年　　　月　　　日生まれ　　（　　　　歳） |
| 住所 | 京都市　　　区　　　　　　　 |
| 電話番号 |  | メールアドレス |  |
| 診断名 |  |
| 合併症 |  |
| 主治医 | 専門医 | 医療機関名：住所：医師名：　　　　　　　　　　　　電話： |
| かかりつけ医 | 医療機関名：住所：医師名：　　　　　　　　　　　電話： |
| 経過 | 発症：　　　年　　月　　　　　　　　　　　　人工呼吸器装着：　　　年　　月 |
| 内服薬 | 　★薬局でもらう、薬の説明書をコピーし入れておいてもよい。 |
| 基礎情報 | 身長/体重 |  cm/ kg  | 血液型 | 　　　　型　RH |
| 血圧 |  　 / mmHg | 体温 | ℃  |
| 脈拍 |  　 回/分 | SpO2 | ％  |
| コミュニケーション | 会話　　筆談　　文字盤　　意志伝達装置　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 具体的に記載（Yes/Noサイン等） |
| **医療処置情報** |
| 人工呼吸器 | 機種名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 　□気管切開で使用（TPPV）　　　　　　　　　　□マスクで使用（NPPV） |
| 　　□量規定（VCV） | □圧規定（PCV） |
| 　1回換気量（　　　　　　　　）ｍｌ | IPAP（　　　　　　）、EPAP（　　　　　　） |
| PS（　　　　　　）、PEEＰ（　　　　　　） | 換気圧（　　　　　　　）、PS（　　　　　　）、PEEＰ（　　　　　） |
| 呼吸回数（　　　　　　　　　）回/分 | 呼吸回数（　　　　　　　　　）回/分 |
| 吸気時間又は吸気流量（　　　　　　　） | 吸気時間（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 人工呼吸器装着時間：　□２４時間　　□夜間のみ　□その他（　　　　　　　　） |
| 酸素使用 | * あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　）L/分　　□　なし　　□　その他
 |
| 気管切開 | カニューレ製品名（　　　　　　　　　　　　）　サイズ（　　　　　　）　カフエア量（　　　　　）ｍｌ |
| 吸引 | * 気管内　　□　鼻腔内　　□　口腔内

サイズ（　　　　　　　　　　）　頻度（　　　　　　　回/日） |
| 栄養 | * 経口　　□　経鼻　　□ 胃ろう　　□ 腸ろう　　□　ＩＶＨ
* その他：
 |
| ＜内容＞製品名： | ＜量＞　　　　　ｍｌ/回、　　　　　　ｍｌ/日１日の総カロリー：　　　　　　ｋcal |
| 排泄 | 通常量　　　　　　　 | 尿　　　　　　　　　ｍｌ/日 | 便　　　　　　　　　　回/日 |
| 方法 |  |  |
| * 膀胱留置カテーテル　　　　□　導尿　　　　回/日

サイズ（　　　　　　　　　　　） |
| 褥瘡の処置 | 部位・状況 |  |
| ケア内容体位変換等 |  |
| 特記事項 |  |
| 記入者 | 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日： |

２　停電時の対策

〇機械ごとの確認内容

|  |  |
| --- | --- |
| **機械と確認内容** | **ポイント** |
| **人工呼吸器** | ・停電時はすぐに外部バッテリーに付け替えましょう。切り替えが必要な機種は、切り替え方法を習得しておきましょう。・蘇生バックが使えるように練習しておきましょう。・医療機器メーカーへ停電時の対処方法について確認しておきましょう。・落雷対策も必要です。雷サージ対応コンセントの使用や雷鳴時にコンセントを抜きバッテリー作動に移行するなど具体的に話し合っておきましょう。 |
| 内部バッテリー　　（　　あり　　・　　なし　　）　持続時間： 時間 |
| 外部バッテリーの準備　（　　あり　・　なし　　）　持続時間： 　時間 |
| **酸素濃縮器** | ・停電時はすぐに酸素ボンベに切り替えましょう。（酸素濃縮器にはバッテリーが内蔵されていないものが多いです）・酸素ボンベを使用する際に必要な電池を常備しておきましょう。・酸素ボンベで酸素が難時間もつか医療機器メーカーへ確認しましょう。 |
| 流量：　　　　　　　　　　　　ℓ/分 |
| 予備の酸素ボンベ　　　　　　　　ℓ　が　　　　　　　　本　⇒　　　　　　　　時間もちます。 |
| **パルスオキシメーター** | ・携帯用パルスオキシメーターを使用する際は必要な電池を常備しておきましょう。 |
| **吸引器** | ・１回の吸引時間については個人差があります。内部バッテリーで何回もつか確認しましょう。・手動や足踏み式など、電源を必要としない吸引器がある場合は、使い方を習得しておきましょう。 |
| 内部バッテリー：　　　　　　時間　□予備の吸引器がある場合　　　内部バッテリー　　　　　　時間 |
| 停電に備えて準備しておきましょう* 手動吸引器　　　□　足踏み式吸引器
* その他：
 |
| **電動ベッド** | ・手動で操作が可能かどうか、ベッドのメーカーに確認しておきましょう。・停電の可能性が高い状況になったら、ベッドを水平に戻しておきましょう。 |
| **エアマット** | ・エアマットが使えない場合の除圧対策（褥瘡予防マットレスやクッションの使用）について検討しておきましょう。・長時間の停電では空気が抜けるものがあるので、対応について、メーカーに確認しておきましょう。 |
| 停電時にエアマットが利用できる時間　　　　　　　　　　時間 |
| **電動車いす** | ・停電時に使用できるように日ごろから充電しておきましょう。・バッテリー残量を確認しておきましょう。 |
| **輸液ポンプ** | ・停電時どのように対応すればよいか主治医に確認しておきましょう。・停電時に対応できるよう電池を常備しておきましょう。・手動に切り替える練習をしておきましょう。 |
| 内部バッテリー：　　　　　　　　時間 |
| **非常用電源** | ・発電機の燃料やエンジンオイルを常備しておきましょう。・発電機は必ず野外で使用しましょう。・蓄電池は停電時に使用できるように日ごろから充電しておきましょう。・シガーソケットケーブルは必ずエンジンを駆動させてから繋ぎましょう。・使用方法を確認し、使い方を習得しておきましょう。 |
| 発電機　　□　あり　　　　□　なし |
| 蓄電池　　□　あり　　　　□　なし |
| 車のシガーソケット　　□　あり　　　□　なし |
| その他　　□　あり　　　□なし（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

３　自宅付近のハザード情報

〇　ご自宅近辺の地理的な状況等から推測される起こりやすい災害はどんなものがあるのでしょうか？

〇　京都府マルチハザード情報提供システムや京都市の各種ハザードマップを参考として起こりうる災害を把握しておきましょう。京都府マルチハザード情報提供システムはわが家の防災マップ（ご自宅で起こりうる災害等を記載したもの）を印刷することもできます。

地震・洪水・土砂災害等

４　避難を判断する目安

・患者さん本人の体調の異常は？

・介護者の負傷は？

・家屋の被害は？

・避難勧告は？

**災害発生**

医療機器（人工呼吸器や吸引器など）に異常がありますか？　→ｐ８

なし

なし

あり

代わりの人工呼吸器や吸引器は使えますか？

あり

できる

できない

停電時はここから！

→ｐ９

**ライフライン**

（電気・ガス・水道）に被害がありますか？

あり

なし

**被災後２時間で次の行動を検討しましょう。**

ライフライン復旧の目途が立たない場合。

ライフライン復旧の目途が立った場合。（例：停電の間はバッテリーで対応できる。）

医療機器提供業者に連絡し、対応してもらうことはできますか？

　→ｐ１０

**★在宅で様子をみる**

　　　→ｐ１０

いつでも避難できるように持ち物などの準備をしておきましょう。

できる

できない

**★避難する**

→ｐ１１

**避難する場合も在宅で様子をみる場合も、**

**できれば連絡可能な関係機関に一報を入れてください。**

5　災害が発生した時の初期対応

○　ご本人が大丈夫か、人工呼吸器等医療機器が正常に作動

しているかどうか確認しましょう。

人工呼吸器の確認のポイント

□人工呼吸器本体に破損がなく、作動しているか

□異常な音、臭いは出ていないか

□呼吸回路の各接続部にゆるみはないか

□回路は破損していないか

□設定値は変わっていないか

※アラームが鳴っていなくても必ず確認しましょう。

○　正常に作動していない場合はすぐに蘇生バックによる呼吸

を開始してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　パルスオキシメーターで確認　　　　通常のSpO2　　　　　　％

　※蘇生バックは平常時に使い方を習得しておきましょう。

○　正常に作動していない場合の連絡先

主治医　：

TEL　　　：

人工呼吸器取り扱い業者　：

TEL　　　：

に連絡してください。

６　停電が発生した時の初期対応

○　電気が消えたらまずブレーカーを確認しましょう。

ブレーカーが落ちていれば、ブレーカーを上げましょう。

○　ブレーカーが落ちていない場合は停電情報を確認しましょう。

＜停電情報の問い合わせ先＞

|  |  |
| --- | --- |
| 関西電力送配電停電情報自動音声ダイヤル | ０８００－１２３－７８００ |
| 関西電力送配電ダイヤル（コールセンター） | ０８００－７７７－３０８１ |

※関西電力送配電ダイヤル（コールセンター）へ問合せする際に、以下のいずれかの番号を伝えてください。

○供給地点特定番号（２２桁）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

○お客様番号（日程・所・場所を含む１４桁）　※関西電力と契約中の方のみ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　　　＜その他停電情報の確認＞

　　　　　・関西電力HP：<https://www.kansai-td.co.jp/teiden-info/index.php>

　　　　　・停電情報アプリ：「関西停電情報」

　★停電が長引きそうな場合

**○電源の確保**　（必要な項目□→☑、接続する機器を〇で囲む：事前にA（アンペア）数を確認する）

* 車のシガーソケットケーブル（　　　　　　　　　　）A
* 発電機　　　　　　　　　　　　　 （ ）A
* 人工呼吸器　　　　　（　　　　　　　　）A
* バッテリー　　　　　　（　　　　　　　　）A
* 吸引器　　　　　　　　（　　　　　　　　）A
* 酸素濃縮器　　　　　（　　　　　　　　）A
* その他：　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　）A

　　**○その他の対処**（必要な項目□→☑、接続する機器を〇で囲む）

　　 　□電池利用機器への切り替え　：

　　　　　　・　低圧持続吸引器　　　・　パルスオキシメーター

* その他　：

□エアマット　：

□人工呼吸器の加温加湿器　：

　・　人工鼻の使用　　　　　・加温加湿器へお湯の追加

□その他：

**自家発電設備のあるところ**

施設名 ：

所在地 ：

連絡先 ：

受入確認 ：　済　・　未

**人工呼吸器のバッテリーに心配がある時は、医療機器メーカーに相談しましょう。**

会社名（担当者名）：

所在地 ：

電話番号 ：

その他連絡先 ：

７　避難する場合の方法

**○　自宅での療養が難しい場合や避難を判断する場合、**

①だれ（避難の判断などについて相談できる方）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　tel　　　　　　　　　　　に連絡して

②交通手段

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　tel　　　　　　　　　　　で

③だれ（移動などの協力を得られる方）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　tel　　　　　　　　　　　の協力を得て

④病院、施設、親戚宅等避難場所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　tel　　　　　　　　　　　に

**※避難してください。**

**○　避難時の持ち出しセット（事前に外出用リストを作成しておきましょう。）**

準備した項目の□にレでチェック

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| * 人工呼吸器
 | * 外部バッテリー
 | * 呼吸器回路
 |
| * 人工鼻（加温・加湿）
 | * 蘇生バッグ
 | * 吸引器
 |
| * 吸引チューブ
 | * アルコール綿
 | * 蒸留水
 |
| * 経管栄養セット
 | * 経腸栄養剤
 | * 保険証
 |
| * お薬手帳
 | * 薬
 | * 延長コード
 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| メモ | ポイント |
|  | ・緊急時に最低限持ち出すものはベッドの下など身近なところにまとめておきましょう。・避難所で手に入りにくいものは必ず用意しておきましょう。 |

　　①　自宅での療養が困難な場合の連絡先

 避難の判断などについて相談できる方を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属・続柄 | 氏名 | 電話番号 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　②　避難先までの移動

　　　　　　避難先までの移動方法、移動ルート等を話し合っておきましょう。

　　③　援助をお願いできる近隣の方

　　　　　　移動など援助をお願いできる方を記入しましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 電話番号 |
|  |  |
|  |  |

　　④　避難（緊急入院）先　（病院、その他）

　　　　　病院、その他（家族・近隣の援助のみで行くことができ、電力が確保できる施設や親戚宅等）を記入しましょう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 病院・施設等 | 担当 | 電話番号 | 住所 | 受入れ確認状況 |
| 第１選択 |  |  |  |  | 済 ・ 未 |
| 第２選択 |  |  |  |  | 済 ・ 未 |
| 第３選択 |  |  |  |  | 済 ・ 未 |

|  |
| --- |
| ８　各種連絡先リスト**○　関係者連絡リスト**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日作成 |
| 安否確認する人 | 災害用伝言板登録 | 区分 | 所属 | 担当者 | 電話番号 | 情報提供可否 |
|  |  | かかりつけ医 |  |  |  |  |
|  |  | 専門医 |  |  |  |  |
|  |  | 訪問看護師 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ケアマネジャー |  |  |  |  |
|  |  | 保健師 |  |  |  |  |
|  |  | ホームヘルパー |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 近隣者 |  |  |  |  |
|  |  | 民生委員 | 住所・名称 |  |  |  |
|  |  | 避難所 |  | ※自分たちの安否を地域防災拠点に伝えましょう。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **○　安否確認の流れ** |  |
| **ご本人・家族** |  | 安否確認する人 | 連絡方法 |
|  | ◎ |  |
| ○ |  |

|  |
| --- |
| **○　医療機器取り扱い事業者リスト**　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 区分 | 所属 | 担当者 | 電話番号 |
| 人工呼吸器 |  |  |  |
| 酸素濃縮器 |  |  |  |
| 吸引器 |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **○　家族・親族リスト** |
| 災害用伝言板登録 | 続柄 | 氏名 | 住所または勤務先 | 電話番号 | 情報提供可否 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

memo（補足で記載したいこと等を記載しましょう。また、分かりやすいように写真を貼っておくのもよいです。）

例：呼吸器の設定画面、呼吸器と回路の接続方法、呼吸器と外部バッテリーの接続方法、ナースコールのスイッチ

やセンサーの使用方法、NPPVのマスクの装着時の注意点、身体へのクッションのあて方　等

（参考資料）

防災対策・災害情報

平常時から災害に備えて、防災マップ等を確認するなど、防災対策をしておきましょう。

また、災害から身を守るためには、災害情報をいちはやく手に入れることが重要です。

災害で命を落とさないためにも、日頃から災害情報に敏感になっておきましょう。

**１　防災対策**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報提供機関 | ホームページ等 | 二次元コード |
| 京都市 | ・京都市防災ポータルサイト「防災情報」「災害情報」「危機管理情報」の情報発信を行うサイトです。<https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/>・各区役所・支所、行財政局防災危機管理室印刷したハザードマップ（地震・水害）を提供しています。 | QR コード  自動的に生成された説明 |
| 京都府 | ・京都府マルチハザード情報提供システム独自の防災マップ（想定される被害や避難所の場所など）を作成、印刷することができます。<http://multi-hazard-map.pref.kyoto.jp/top/top.asp> | QR コード  自動的に生成された説明 |
| 気象庁 | ・防災情報「気象」「地震・津波」などに関する情報を提供しています。<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html> | QR コード  自動的に生成された説明 |
| 国土交通省 | ・防災情報提供センター防災情報を集約して、提供しています。<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/> | QR コード  自動的に生成された説明 |

**２　災害情報**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報提供機関 | ホームページ等 | 二次元コード |
| 電話会社 | •NTT西日本（災害用伝言ダイヤル、災害用伝言版）<https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html>・携帯電話会社各携帯電話会社のホームページで、「災害用伝言版サービス」の項目を御参照ください。 | QR コード  自動的に生成された説明 |
| テレビ、ラジオ | ・NHK NEWS WEB（気象・災害）<https://www3.nhk.or.jp/news/saigai.html>・ラジオ京都市は、NHK京都放送局、KBS京都、αステーション（FM京都）、FM COCOLOと協定を結んでおり、災害時に情報を発信します。 | QR コード  自動的に生成された説明 |
| 行政機関 | ・京都府防災・防犯情報メール<http://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/mail.html>・携帯電話会社各携帯電話会社のホームページで、「緊急速報メール」の項目を御参照ください。・避難情報案内システム電　　話 ：075-241-9901、（英語対応）：075-241-9902 | QR コード  自動的に生成された説明 |

**○NTT西日本の災害用伝言サービス「171」＆「web171」の利用方法**

地震などの災害が起きると、被災地への安否確認の電話が殺到して電話がつながりにくくなることがあります。こんな時は、「災害用伝言ダイヤル171」を利用しましょう。また、インターネットを利用して安否確認を行える「災害用伝言板web171」を御利用ください。

**○「災害用伝言ダイヤル171」の利用方法**※音声ガイダンスに従って御利用ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 伝言の録音 |  | 伝言の再生 |
| ①「１７１」をダイヤル②「１」を押す③被災地の電話番号をダイヤル |  | ①「１７１」をダイヤル②「２」を押す③被災地の電話番号をダイヤル |

**○「災害用伝言板web171」の利用方法**　※画面の指示により御利用ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 伝言の登録・確認 | 二次元コード |
| 1. 「災害用伝言板web171（<https://www.web171.jp/>）」にアクセス
2. 被災地の電話番号を入力
3. 文字による伝言を登録・確認
 | QR コード  自動的に生成された説明 |

　＜体験利用日＞

　　毎月1日及び15日 00:00～24:00

正月三が日（1月1日00:00～1月3日24:00）

防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）

防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

※伝言保存期間：体験利用期間終了まで

**memo**

災害に関する事前登録制度

**在宅人工呼吸器装着患者事前登録制度**

在宅で人工呼吸器を使用されている患者さんが、長時間に及ぶ停電等によりお持ちの人工呼吸器の内部バッテリーや外部バッテリーでは対応できなくなる緊急事態を想定し、医療機関への受入がスムーズに行えるようあらかじめ情報を登録しておくためのものです。

**※ご留意いただきたいこと**

　この登録システムは、搬送先登録医療機関への受入を確約するものではありません。登録をおこなっていても、搬送先登録医療機関の入院患者の状況などにより受け入れできない場合もありますので、必ず事前に連絡を入れてから搬送先登録医療機関へ行くようにしてください。

**○対象者**

 ・在宅で24時間人工呼吸器を装着されている方

＜お問い合わせ先＞

　京都府　健康福祉総務課

　住所：京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町　京都府庁1号館４階

　電話：075－414－4563